

2017年度後期

聴講生
科目等履修生
募集要項



プール学院大学短期大学部

◆出願資格

高等学校を卒業された方、またはそれと同等以上の学力があると認められる方。ただし、開講科目によって受講制限があります。

◆開講期間

2017年9月28日（木）～2018年1月29日（月）

※上記期間中、各授業は15回実施します。

◆時間割

	授 業 時 間
第1時限	9：00～10：30
チャペルタイム	10：40～10：55
第2時限	11：00～12：30
第3時限	13：20～14：50
第4時限	15：00～16：30
第5時限	16：40～18：10

◆試験期間

2018年1月31日（水）～2018年2月6日（火） ※2月7日（水）期末試験予備日

※聴講生は期末試験を受けることはできません。

※期末試験のスケジュールは、1月以降に学内にて発表いたします。授業が休講になった時は、補講が行われますので掲示板等を確認してください。

◆受講料

聴講生（単位修得なし） 1科目 7,500円

科目等履修生（単位修得あり） 1科目（2単位） 20,000円

※原則として、既納の受講料は返還できませんのでご了承下さい。ただし、本科生の受講者がなく閉講になった場合のみ返金いたします。

◆受講科目

受講科目は、1学期間で6科目12単位を上限とします。また、科目等履修生は既に単位修得している科目を再履修することはできません。（聴講生は、同一科目を再受講することができます。）

◆申込手続き

日 付	手続き	注意事項
9月4日(月) 17時必着	出願書類の提出	提出期限までに全て揃えて提出してください。書類に不備がある場合、受け付けできませんのでご注意ください。 【提出書類】 1. 聴講生・科目等履修生願及び受講理由書 2. 経歴書 ※2016年度後期、2017年度前期に受講された方は不要です。 3. 写真1枚：縦4cm×横3cm。経歴書に貼付してください。 4. 健康診断書（科目等履修生のみ） 胸部レントゲン、内科診察、血圧、尿検査の検査項目を満たし、かつ、開講初日から遡って3ヶ月以内（2017年6月5日以降発行）の受診結果を記したもの。様式自由。 （2017年度前期に健康診断書を提出された方は、提出の必要はありません。）
9月15日(金) 頃発送予定	書類の受け取りと確認	書類審査終了後、以下のものをお送りしますので、資料に不足がないか確認してください。 【送付物】 1. 受講可否通知 2. 前期科目を受講するにあたっての注意事項 3. 受講科目表（個人別） 4. 教科書購入表 5. 受講科目のシラバス 6. 年間行事予定表 7. 納付書 8. 学研賠、学研災パンフレット（科目等履修生のみ） ※受講不可の場合は（1）のみ送付。 ※資料に不足がある場合は、大学教職センターまで連絡してください。
9月25日(月) 振込期限	振込	履修に必要な経費を左記期限までに振り込んでください。手数料は振込人負担です。期日までに振込がない場合は、 <u>辞退として取り扱います</u> 。 【内訳】 ・受講料 ・学生教育研究災害傷害保険料（1,000円）※科目等履修生のみ。 ・学研災附带賠償責任保険料（340円）※科目等履修生のみ。
9月25日(月) ～26日(火) 予定	教科書の購入	教科書販売期間中に各自ご来校の上、お買い求め下さい。 販売場所は教務課で確認してください。
9月28日(木) 開講	授業への出席	履修された科目の最初の授業までに教職センターで以下のものを受け取ってから授業に出席してください。 授業は、履修科目によって曜日時限が違いますのでご注意ください。 ・科目等履修生：科目等履修生証、履修の手引き、加入者のしおり ・聴講生：聴講生証

◆学生教育研究災害傷害保険（対象：科目等履修生）

大学内外の教育研究活動中に起こった不慮の災害事故を補償するために、科目等履修生の方も本学の学生と同様に、学生教育研究災害傷害保険（学研災）に加えて、学研災付帯賠償責任保険（学研賠）に全員加入して頂きます。

保険料は学生教育研究災害傷害保険が1,000円、学研災付帯賠償責任保険が340円です。受講料と同時に振り込み下さい。保険期間、保険の詳しい内容等については、別紙「学生教育研究災害傷害保険について」・「学研災付帯賠償責任保険について」をご覧ください。

※2017年度前期に学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険にご加入いただいた方は、2017年度後期まで有効ですので、今回新たにご加入いただく必要はありません。

◆科目等履修生の単位修得（対象：科目等履修生）

単位修得を希望される場合、本科生と同様に期末試験（レポート試験を含む）を受験し、合格すると単位が修得できます。60点以上が合格点です。科目はすべて1科目2単位です。

なお、追試を受けることはできますが、再試を受けることはできません。

原則として、授業回数の3分の2以上の出席がないと不合格（0点）となります。

詳細は履修の手引きでご確認ください。

◆注意事項

1. 自動車での通学は認めていません。また、大学周辺の路上駐車を禁止します。公共交通機関をご利用の上、通学して下さい。原動機付自転車、または自転車での通学も可能ですが、ご利用の方は、事前に事務室の学生課まで届け出て下さい。
2. 原則として科目の募集人数に制限はありません。
3. 科目名、担当者が同じであれば、学期や曜日・時限が違っていても同じ授業ですので、ご注意下さい。
4. 受講の途中で聴講生から科目等履修生、または科目等履修生から聴講生への変更はできません。
5. いったん受講のお申し込みをいただいた科目は、原則として途中で変更することはできません。
6. 聴講生・科目等履修生に対して受講許可を出した場合でも、本科生の受講者がいない授業については開講いたしません。予めご了承ください。
7. 聴講生・科目等履修生は本学の図書館・食堂の利用、チャペルタイムへの出席ができます。
8. 本学の行事または担当者によるやむを得ない事情等により、授業が休講になる場合がありますが、原則として個人宛には連絡いたしません。各自本学の掲示板、または本学ホームページでご確認ください。
9. 休講の際、補講を行う場合があります。実際の補講日時等詳細については、各科目担当者より口頭あるいは掲示にて指示があるか、または教務用掲示板に補講の時間割が貼り出されますので、各自でご確認ください。

◆本学卒業生による教職関連科目・保育士関連科目の履修について（大学または短期大学部）

在学時に履修できなかった教職関連科目・保育士関連科目を履修して教員免許や保育士資格の取得を目指す方を対象に科目等履修申請を受け付けます。希望される方は、教職センター科目等履修生・聴講生担当までお問い合わせください。

担当者：

プール学院大学短期大学部

教職センター 聴講生・科目等履修生担当

TEL 072-290-2481

各 位

プール学院大学短期大学部
学長 蔵田 實

自動車通学の禁止について

本学周辺には駐車スペースがありません。路上駐車は歩行者の通行の妨げになるばかりでなく、大型車、消防車や救急車などの緊急車両の通行の妨げとなり、近隣の方の生活に大きな支障を与えることとなります。

また、最近学生の事故が頻発し、けがや賠償のために学業を継続できなくなるという事態も生じています。

これらのことを踏まえ、本学では学生の自動車通学を禁止し、電車、バス等の交通機関で通学していただくこととしています。そのことを前提に、よりよい通学の便を確保するために、路線バスの利用に加えて、バス会社との個別契約による泉大津方面、富田林方面、和歌山方面の直通バスも運行しています。

したがって、この禁止事項を無視して自動車通学を行った学生には、厳重に注意をし、学長懲戒処分を含む厳しい措置を講じる所存です。

【2017年度後期 聴講生・科目等履修生開講科目一覧】

- ◆ 短大科目については、受講を女性に限らせていただきますが、※印のある科目は男性の方も受講することができます。
- ◆ 教科書の購入にあたっては、受講者に後日送付される教科書リストをご確認ください。
- ◆ 科目はすべて1科目2単位、授業はすべて週1回です。

「プール学院大学短期大学部」聴講生・科目等履修生対象科目は次のとおりです。

No.	科目区分	学科	曜日	時限	授業科目	担当教員
1	短大	秘書	月	2	観光と地理 ※	稲田 篤子
2	短大	秘書	木	2	社会心理学	荻野 正美
3	短大	秘書	金	3	日本の文学 ※	西尾 宣明
4	短大	秘書	水	2	ジェンダー論 ※	佐竹 純子
5	短大	秘書	木	4	気象と生活 ※	大嶋 耕一
6	短大	秘書	木	1	産業論	平井 拓己

※2017年度後期は「プール学院大学」聴講生・科目等履修生対象科目はありません。

「プール学院大学短期大学部」聴講生・科目等履修生対象科目は次のとおりです。

No. 1 ※、男性の方も受講可

科目名	観光と地理		
教員名	稲田 篤子		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週1回	単位数	2
授業概要	この授業では、国内の地理的情報と国内観光の基礎知識を結びつけ、世界に稀有な日本の観光資源を地域ごとに取り上げ、自然・社会・文化などの特性を考える。同様に海外の地理的教養も養う。観光産業を地誌的観点から探ることによって、その将来的な意義を理解することを目的とする。2020年に開催される東京オリンピック、訪日外国人観光客2000万人を目指す政策に伴い、観光産業において求められる優秀な人材となる基礎知識の習得も目指している。		

No. 2

科目名	社会心理学		
教員名	荻野 正美		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週1回	単位数	2
授業概要	この講義では、社会心理学の知見から社会や組織集団と個人との相互関係について解説する。はじめに、自己認知や対人認知などを取り上げ、個人内過程を概観する。次に、対人魅力や説得と態度変化を解説し、対人関係の諸側面について考察する。さらに、集団行動、集団過程、社会的交換など、個人が所属するさまざまな組織と自己との関係について解説する。		

No. 3 ※、男性の方も受講可

科目名	日本の文学		
教員名	西尾 宣明		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週1回	単位数	2
授業概要	1920年以降の小説作品を時代順に読解する。そして、そこに認められる日本文化の特質や感性について理解を深める。具体的には、大正モダニズム文芸、昭和の都市を描いた文芸、戦争時代を描いた文芸、昭和30年代の日本を描いた文芸、現代の若者を描いた文芸などである。 また、日本文化の伝統性を理解するために、短歌や詩の講義も行う。近代日本の歴史的展開を視野に、文芸に認められる思想性と感性を考察する。		

No. 4 ※、男性の方も受講可

科目名	ジェンダー論		
教員名	佐竹 純子		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週1回	単位数	2
授業概要	現代日本の男女共同参画社会における「ジェンダー」をめぐる諸問題について考える。まず過去の文献を読み解き、女性解放思想（フェミニズム）の歴史をふりかえり、男女平等をめざす国際的な取り組みについて理解する。「ジェンダー」と他の社会的諸問題との関係を明らかにすることで、「ジェンダー」をめぐるこれまで日本で当然とされてきた考え方について批判的にみていく。		

No. 5 ※、男性の方も受講可

科目名	気象と生活		
教員名	大嶋 耕一		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週1回	単位数	2
授業概要	インターネットが普及したおかげで、気象情報はいつでも好きなときに、リアルタイムな情報を得られるようになった。この授業では、まず最も基本的な気象に関する知識を学ぶ。次に、どこでどのような気象情報が得られ、それをどう生活の中で活用できるのかについて学ぶ。また、特に台風、雷、竜巻、集中豪雨といった、シビアな気象現象について正しい知識を習得し、災害から身を守るための能力を養う。		

No. 6

科目名	産業論		
教員名	平井 拓己		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週1回	単位数	2
授業概要	産業とは何かを経済との関係でとらえた上で、日本の産業の移り変わりについて学ぶ。また、政策が果たした役割について考え、日本の産業が抱える問題や課題を浮き彫りにする。さらに日本の第二次産業および第三次産業のなかから特徴的な業界をとりあげ、その歴史、特徴、課題等を学ぶ。		